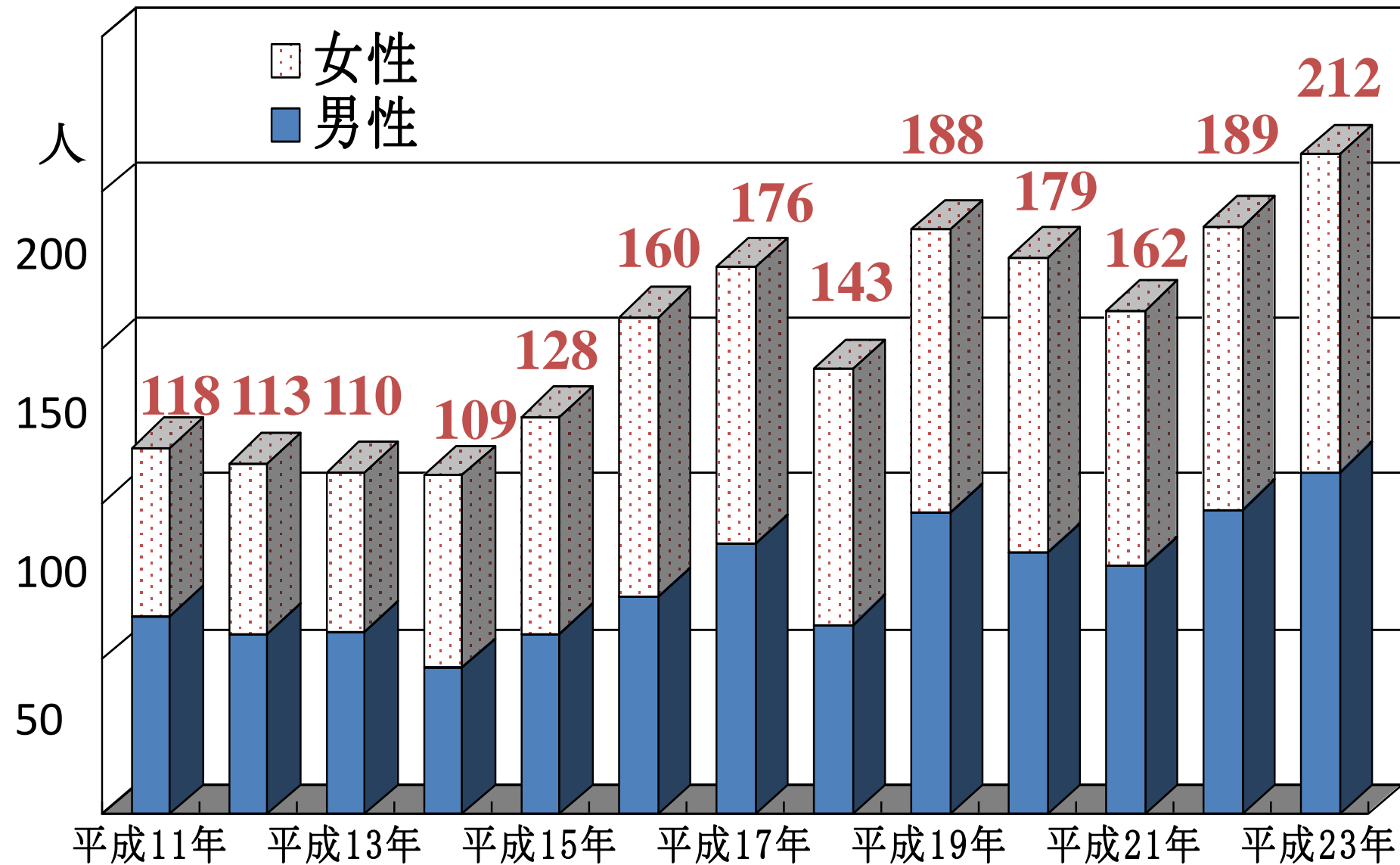
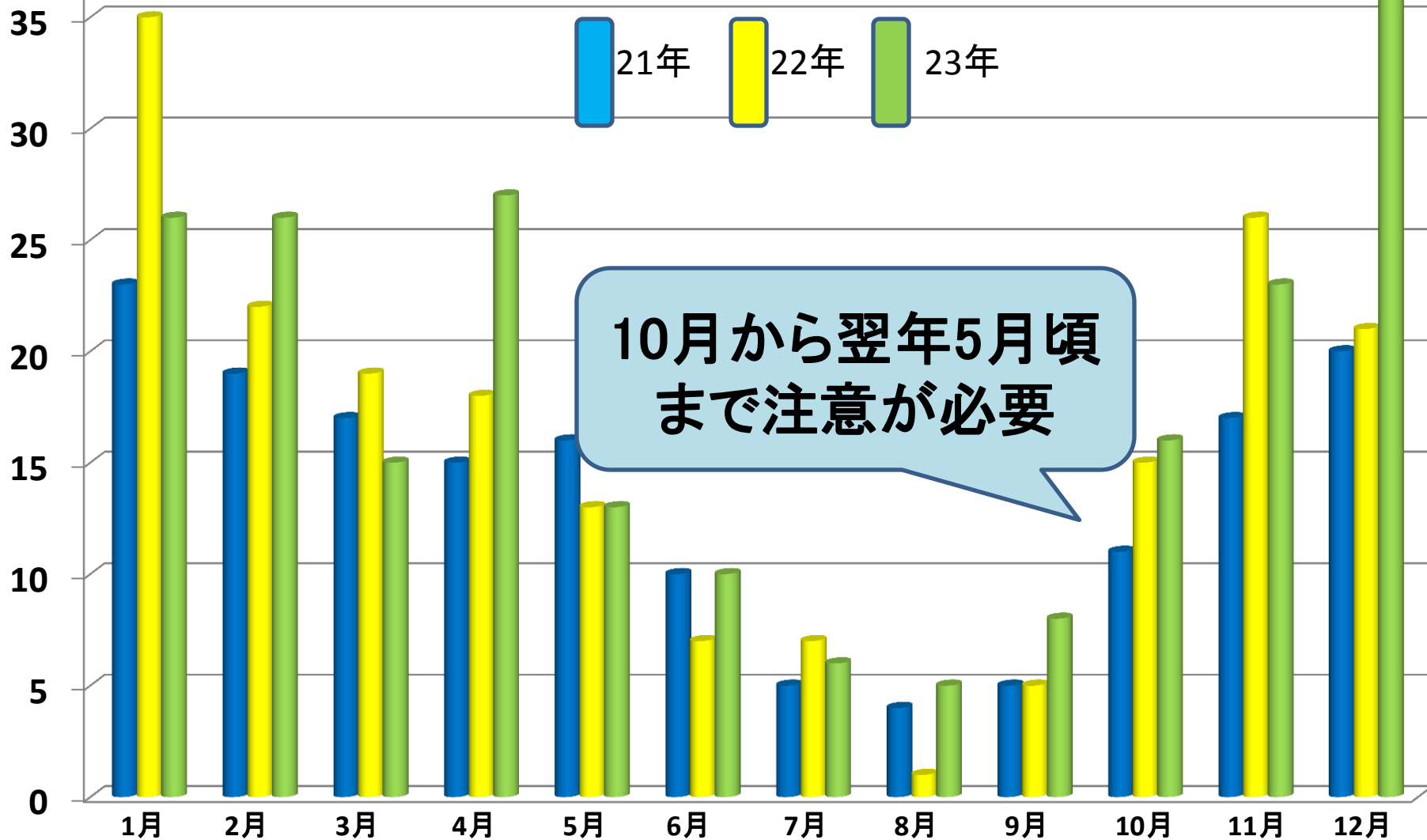


秋田県の最近13年間の入浴中死亡者数



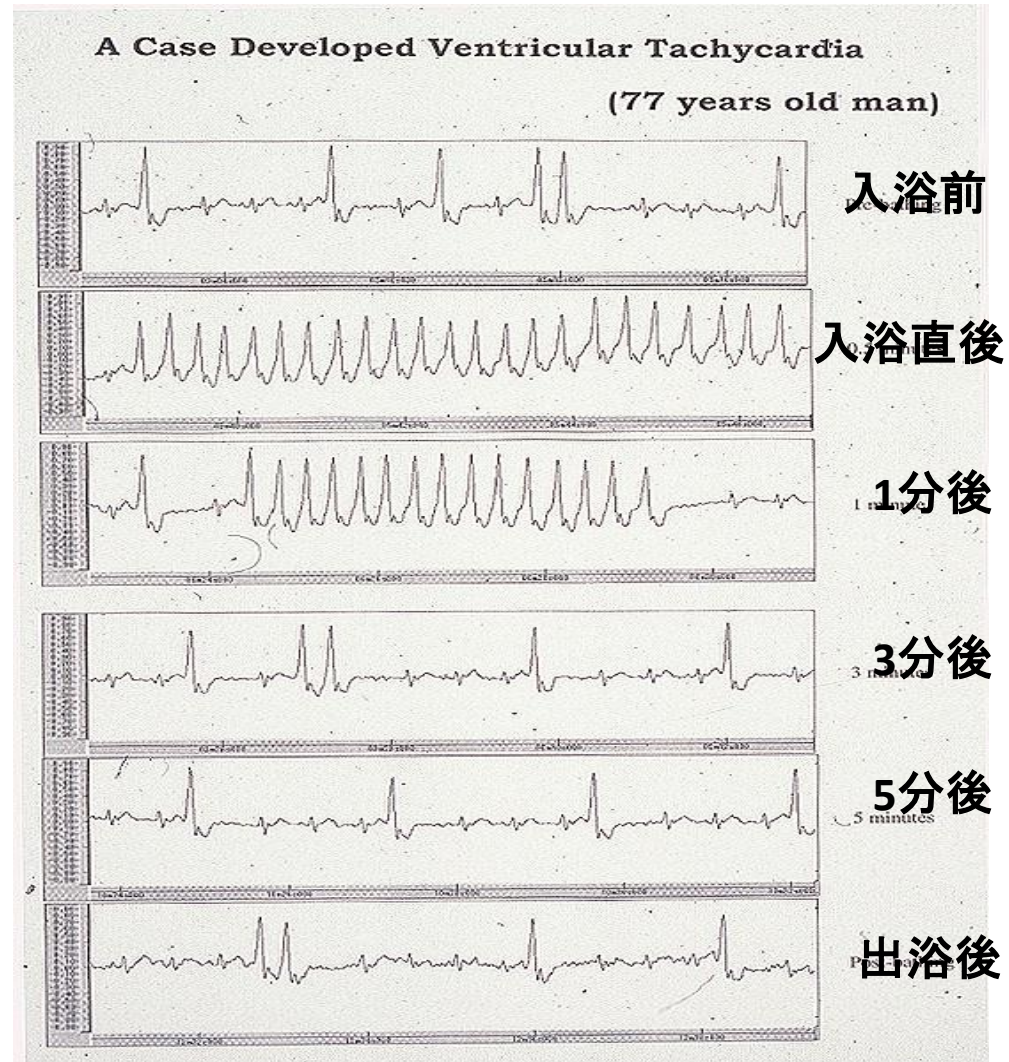
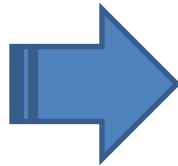
月別入浴中死亡例(最近3年間)



10月から翌年5月頃
まで注意が必要

入浴中に何が起きているのか

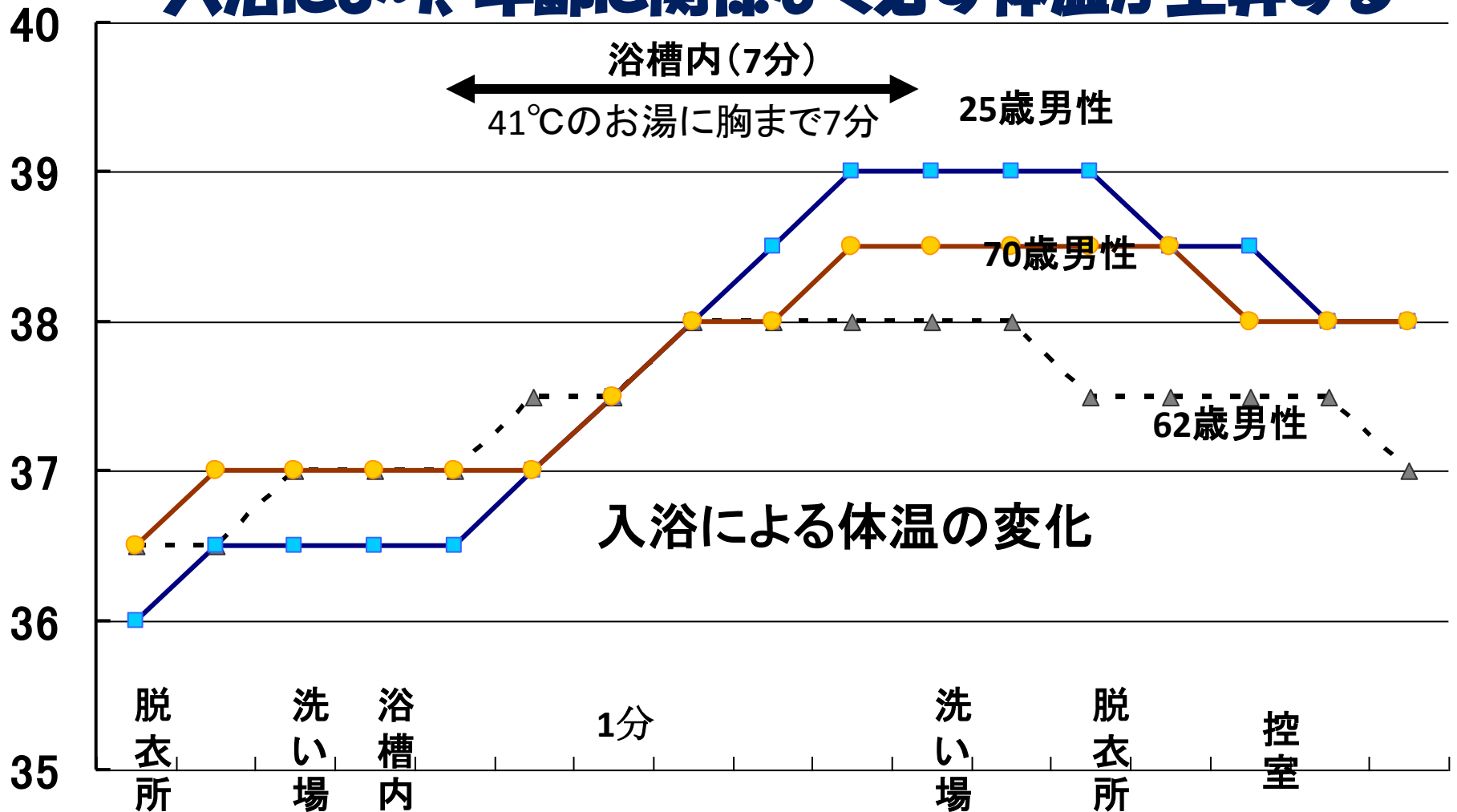
- 入浴により、高齢者には不整脈の出現、悪化する人がいる



文献的にはTIA発症、起立性低血圧、脳出血、脳梗塞などもある。

入浴中に何が起きているのか

入浴により、年齢に関係なく必ず体温が上昇する



平成20年及び23年の入浴中の死亡者数

	平成20年	平成23年	増減数
旭川方面	47	81	+34
釧路方面	/	78	/
秋田県	179	212	+33
岩手県	182	184	+2
鹿児島県	195	226	+31
長崎県	/	207	/
沖縄	/	37	/
合計	/	1025	/

平成23年は確実に増えている

上記調査対象地域の人口から推計される我が国全体の死亡者数は、単純計算で
 $\frac{128057 \text{千人}(\text{日本全体の人口H11年})}{6923 \text{千人}(\text{上記対象地域の人口合計})} = 18.5$

$18.5 \times 1025 = 18960 \text{人}$ となる

どうすれば事故防止が可能か

一般的な注意喚起事項

- 寒い時期、脱衣所や浴室などの暖房に心がけることで急激な温度変化を避ける
- お湯の温度を上げすぎない(41℃以下)
- 顔までお湯につからず胸の辺りまでにする
- 脱水を防ぐため水分を補給する
- 複数で入浴するか、家族は時々声をかける
- 入浴前は飲酒し過ぎない(特に温泉場では)
- 生活習慣病などの疾患のある人は注意する

入浴中の事故が起こらないようにする!!